

東北町 議会だより

第85号

発行 青森県東北町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0176-56-4227
住所 東北町上北南四丁目32-484

BLOOMING TOWN

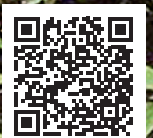
Flowers for Someone, Somewhere

咲きつづけるまちへ



主な内容

- ◆6月議会で審議された議案等 2~4P
- ◆一般質問 5~7P
- ◆各常任委員会の報告から 8~10P
- ◆議会の動き(4月~6月) 11P



東北町議会
ホームページ
二次元バーコード

6月議会定例会 何が決まったの？

議案結果一覧

[令和8年第2回東北町議会定例会（令和8年6月10日）]



議案	件名	議決結果	6月定例会概要
報告	専決処分の報告について (上北保健福祉センター改修工事請負契約の一部変更)	報告	6月定例会は、6月4日から10日までの7日間の日程で開催されました。 今定例会では、町長から報告案件7件、専決処分承認案件4件、補正予算案件6件、条例案件など2件、農業委員会委員任命の人事案件15件の他、追加案件で工事請負契約の締結案件3件、財産の取得案件が2件の計39件が提出され、審議されました。 一般質問では、岡山粕男議員、坂本直大議員、市川俊光議員の3名が登壇し、活発な議論が交わされました。
	令和7年度東北町一般会計継続費繰越計算書の報告について		
	令和7年度東北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
	令和7年度東北町上水道事業会計予算繰越計算書の報告について		
	令和7年度東北町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について		
	令和7年度東北町土地開発公社事業報告及び決算報告について		
	東北町新型インフルエンザ等対策行動計画の報告について		
専決処分承認案件	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和7年度東北町一般会計補正予算)	承認	
	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和7年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算)		
	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和7年度東北町後期高齢者医療特別会計補正予算)		
	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (東北町税条例の一部を改正する条例)		
令和8年度補正予算	令和8年度東北町一般会計予算案	原案可決	
	令和8年度東北町国民健康保険事業特別会計予算案		
	令和8年度東北町後期高齢者医療特別会計予算案		
	令和8年度東北町介護保険特別会計予算案		
	令和8年度東北町上水道事業会計予算案		
	令和8年度東北町下水道事業会計予算案		
条例	東北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	全件同意	
計画	第3次東北町総合振興計画基本構想について		
人事	東北町農業委員会委員の任命について(15件)	原案可決	
追加案件 (契約締結) (財産取得)	工事請負契約の締結について (東北町保健福祉センター改修工事)		
	工事請負契約の締結について (東北町役場分庁舎解体工事)		
	工事請負契約の締結について (旧第一小学校校舎等解体工事)		
	財産の取得について (東北町自主放送設備改修業務委託)		
	財産の取得について (中学校タブレット端末)		

注目トピック・議案審議

令和7年度一般会計補正予算（専決）

専決処分を全件承認



町長

令和7年度一般会計補正予算（専決）は、地方交付税や各種交付金・補助金の額確定及び事業内容の確定などに伴い、歳入歳出それぞれ3億4,440万円を追加し、総額137億7,880万円としたものです。

主な内容は、災害用資機材整備、戸籍住民基本台帳システム改修、トレーラーハウス設置、上北中学校照明改修、浜台橋鋼管杭撤去などにおいて、事業計画の策定や協議に時間を要したため、翌年度への繰越明許費を設定した点です。

また、豪雪に伴う臨時道路除雪事業費補助金の新規計上や、防衛省による数牛地区町有地への地役権設定に伴う使用料収入の追加、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の状況に応じた基金積立金の見直しなど、実績に合わせた増減を行っています。

【専決処分とは】地方自治法第179条第1項に基づき本来は議会が議決すべき事件を緊急執行を要したため、町長が議事に代わって決定する制度で、令和8年3月31日付けで執行したものを、今回の6月議会で報告し承認されました。

令和8年度一般会計補正予算

子育て支援と教育環境整備を強化



令和8年度一般会計補正予算（第1号）は、県の子育て支援市町村交付金や指定寄附金、国の地域未来交付金等の内示・採択状況、人事異動に伴う人件費の見直しを反映し、歳入歳出それぞれ4,723万3千円を追加するものです。これにより、令和8年度一般会計の総額は133億2,723万3千円となります。

歳入では、学校給食費無償化等を目的とした県補助金の追加や、「未来子ども支援指定寄附」の計上のほか、補正に伴う財政調整のため財政調整基金の繰入れを行い、年度末残高見込額は約8億6千万円となります。歳出では、町道412号線の測量及び工事費を追加する特定防衛施設周辺整備事業、小川原湖公園ふれあい村での樹木伐採、未来子ども支援指定寄附金を活用した教材・学校備品の購入、上北中学校トイレ改修工事費の計上、北総合運動公園の合宿設備環境再生事業の追加などにより、子育て支援と教育・スポーツ環境の充実を図っています。

追加提案（契約締結・財産取得） 5 議案

町施設の改修・解体と教育環境の充実へ



令和8年6月定例会では、町施設の改修・解体や情報・教育環境整備に関する5議案が追加提案され、いずれも原案どおり可決されました。

議案第107号から第109号の3議案は、工事請負契約の締結に関するものです。内容は「東北町保健福祉センター改修工事」「東北町役場分庁舎解体工事」「旧第一小学校校舎等解体工事」であり、東北町議会の議決に付すべき契約・財産処分として条例に基づき提案されました。保健福祉センターの機能復旧・改善と、役場分庁舎や旧第一小学校など老朽施設の整理を進めるための工事です。

議案第110号と第111号の2議案は、財産の取得に関するものです。「東北町自主放送設備改修業務委託」では、防災情報などを町内へ伝達する自主放送設備を改修し、災害時を含めた情報発信体制の強化を図ります。「中学校タブレット端末の取得」では、生徒用端末を整備して授業のデジタル化や個別学習の充実を進め、教育環境の向上を目指します。

新任4名を含む農業委員会委員15名の任命に同意

東北町農業委員会委員の任命について（任期 R8.7.20～R11.7.19）

氏 名	町内名	再任/新任
オノデラ マサ ハチ 小野寺 正 八	豊ヶ丘	再任
エビ ナ イサ 蛭 名 勲	上 野	再任
ツル ガ サキ カツ ヤ 鶴ヶ崎 勝 也	栄 沼	再任
カツ チ タク ヒコ 甲 地 武 彦	五十嵐	再任
チ バ ヲウ セイ 千 葉 滉 成	新 山	新任
サ サ キ ユウ スケ 佐々木 祐 輔	徳万才	新任
タケ ウチ カツ コ 竹 内 勝 子	菩提寺	再任
オカ ヤマ シン ヒコ 岡 山 義 彦	蒼 前	新任

氏 名	町内名	再任/新任
ヌマ ヤマ カズ ヒサ 沼 山 和 久	蓼 内	新任
オト ベ シゲ サク 乙 部 繁 作	乙 部	再任
アサ イ ヒロ シ 浅 井 弘 志	下清水目	再任
エビ サワ セイ ユ 蛭 沢 清 子	内蛭沢	再任
フジ イ ヒサ 藤 井 久	千 曳	再任
ヌマ オ コウ イチ 沼 尾 幸 一	沼崎本村	再任
ナカ ノ カズ オ 中 野 一 男	大 洞	再任

※太字は新任委員

農業委員会の役割



町政を問う

安全で豊かな
町づくりをめざして



さかもと すな お
坂本 直大 議員



一般質問の詳細
や再質問について
は、HPをご
確認ください。

問1 現在の防災体制について問う

- 要旨1 防災庁新設を見据えた町の防災計画アップデートについて
- 要旨2 「防災庁」設置に伴い、地方自治体への情報伝達や支援体制がどう変わると認識しているか
- 要旨3 災害時の指揮命令系統の明確化や、デジタル技術を活用した防災情報の共有体制について、今後の見通しはどうか

問2 町民バスの運行状況は

- 要旨1 これまでの運行の歴史と利用状況について
- 要旨2 利便性向上にむけたデマンド型への段階的移行について
- 要旨3 利用データの政策反映について

防災庁設置と町の防災体制について
答弁（町長）

近年の風水害や地震、山林火災など災害の激甚化を踏まえ、防災・減災対策は最重要課題と認識している。防災庁は、事前防災から復旧・復興までを一体的に担う司令塔として機能するものと捉えている。

これを踏まえ、本町では国・県との連携強化を図り、地域防災計画の見直しを進める。事前防災や災害対応施策の点検を行い、不足や課題の洗い出しを行うことで、地域の防災力向上に努める。

また、防災庁設置により、これまで自治体主体で行っていた被害報告が、デジタル技術の活用により国とリアルタイムで共有される体制へと変化する。これにより、要請を待たずに支援を行う「プッシュ型支援」の強化が期待される。

さらに、各省庁に分かれていた支援窓口が一元化されることで、指揮命令系統が明確化されるほか、避難所情報や物資状況などの共有が迅速化し、災害対応のスピード向上につながるものと考えている。



町民バスの運行状況について
答弁（町長）

町民バスは、住民の通院や買い物など日常の移動手段として運行している。上北地区では平成15年、東北地区では平成18年から運行を開始し、現在はスクールバスの空き時間を活用することで経費を抑え、無料で利用できる体制を維持している。

令和7年度の利用者数は年間3万6,050人、1日平均125.7人、1便あたり7.5人となっており、地域交通として一定の役割を果たしている。また、水曜日には地区間を結ぶ「買い物バス」



を運行し利便性向上を図っている。
デマンド交通については、利便性向上の可能性がある一方で、既存の交通事業者との競合により地域交通全体の維持に影響を及ぼす懸念がある。このため、現時点では町民バスの充実を優先し、関係事業者と協議しながら段階的に検討していく。

農地の未来

将来を見据えた
農地の基盤整備



おかやま かす お
岡山 粕男 議員



一般質問の詳細
や再質問につ
いては、HPをご
確認ください。

問1 水田の現状と対策は

- 要旨1 近年の水稻作付面積の動向について伺う
- 要旨2 土地改良区による水田の整備状況を伺う
- 要旨3 基盤整備されていない水田の整備を町が整備する考えがないか伺う
- 要旨4 山間地の放棄地増大による用排水路の整備の取組みについて伺う

問2 耕作放棄地の現状と対策については

- 要旨1 町内の平地と山間地それぞれの耕作放棄地の面積について伺う
- 要旨2 農業委員会による耕作放棄地解消に向けた取り組み状況を伺う

問3 町の入浴施設と公衆浴場との競合については

- 要旨1 老人福祉センターの浴場利用者に無銭入浴者がいるかその状況を伺う
- 要旨2 民間浴場と公共施設の運用策について伺う

水田の現状と対策について 答弁（町長）

全国・青森県とも直近5年間で水稻作付面積は減少傾向にあり、本町も約1,558ヘクタールから約1,523ヘクタールへと減少している。同様に減少傾向にあることを踏まえ、町の農業の今後を注視している。

町内には5つの土地改良区があり、基盤整備事業を実施中の区域や一部完了した区域があるほか、事業化を検討しているが実施に至っていない区もある。土地改良事業が円滑に進むことが農業発展に寄与する考え、今後も改良区と連携・協議を続ける。

基盤整備されていない水田については、土地改良区が主体的に土地改良法に基づく事業を進めるものと認識している。土地改良区のない地域では水利組合等が意見を取りまとめ、県に要望することで県実施の基盤整備事業に参画できおり、現在1組織が事業を実施中で、事業化を協議している組織もある。町としては、要望があった際には県と交え協議していく。

用排水路については、受益者である農業者が営農活動の一環として維持管理するものと認識している。維持管理費用には集落協定等を策定し、多面的機能支払交付金を活用

することが可能であり、町内では8組織が同制度を利用して維持管理を行っている。町は制度活用に関する相談を随時受け付け、必要に応じて協議を進めている。

耕作放棄地の現状と対策について 答弁（農業委員長）

令和6年度の農地面積は水田3,050ヘクタール、畑地4,930ヘクタール、合計7,980ヘクタールで、耕作放棄地は平地19ヘクタール、山間地96ヘクタール、合計115ヘクタール、約1.44%である。令和7年度の農地パトロールでは、畑地の放棄地として平地20.7ヘクタール、山間地7.1ヘクタール、合計27.8ヘクタールを確認している。耕作放棄地は、高齢化や後継者不足、資材高騰、相続による管理困難などを背景に発生し、地域の農業生産力低下につながる課題と認識している。このため毎年農地パトロールを行い、所有者に農地利用意向調査を実施し、農地中間管理機構の事業利用や貸付、自ら耕作するかなど今後の方針を確認している。併せて委員が各農家を訪問し、担い手への農地集積や遊休農地発生防止の意向を把握し、耕作放棄地の解消に努めている。

老人福祉センター等の入浴施設と公衆浴場との競合問題について 答弁（町長）

老人福祉センターは、高齢者の健康増進や教養、レクリエーションの場を提供するとともに、地域住民にも利用の機会を供し、福祉向上を図る施設であり、広く利用されている。入浴料は65歳以上と小学生未満を無料とし、その他の方は券売機で入浴券を購入していることから、無銭入浴者はいないと認識している。民間浴場は地域の日常生活やコミュニティ形成に貢献してきた重要な存在であり、公的入浴施設は、とくに高齢者や交通手段に制約のある方の身近な入浴機会を確保する役割を果たしている。料金が安価なことから競合の懸念は理解しているが、利用者の選択は料金だけでなく泉質や設備、営業時間、立地など多様な要素によると考えており、公的施設の存在のみが民間浴場の利用状況に直結しているとは一概に言えないと認識している。今後は、利用実態や影響を注視しつつ、営業時間や料金体系のあり方を検討し、地域全体で持続可能な入浴環境の確保に努めていく。

地域への対応

騒音対策区域への
早急な対応



いちかわ としみつ
市川 俊光 議員



一般質問の詳細
や再質問につい
ては、HPをご
確認ください。

問1 三沢飛行場周辺の住宅防音工 事及び移転措置について

- 要旨1** 騒音対策第一種区域の縮小による居住環境の低下に町はどう対応するのか
- 要旨2** 第二種区域の指定で住宅移転による人口流出やコミュニティ機能維持への町の対応は
- 要旨3** コミュニティを分断する指定に対し早急にコミュニティ単位での追加指定を求める考えは

問2 多目的トイレ・授乳室の整備について

- 要旨1** 町内の公共施設などに多目的トイレや授乳室を整備していく計画はあるか伺う

問3 旧学校校舎解体に伴う課題について

- 要旨1** 校舎解体に伴い、母校を偲ぶ場所として跡地に記念公園などの場所を確保する考えがあるか伺う

三沢飛行場周辺の住宅防音工事及び移転措置について

答弁（町長）
新たな騒音区域は令和8年3月16日告示、令和9年10月1日適用で、約1年6か月の経過措置期間が設けられている。この間に希望届を提出すれば、第一種区域から外れる方や新たに第一種となる方も、従来同様に空調設備や防音建具の更新補助を受けることが出来るため、対象世帯には周知していく。適用開始後は防音工事が「外郭防音工事」となり、現在の設備がすべて補助対象とならない可能性があることから、10年以上経過した設備の更新希望は経過措置期間内の対応が重要と考えている。第一種区域は縮小されるものの、航空機騒音や事故への不安は残るため、今後も町民の声を国に届け、生活環境の改善を粘り強く求めていく。第二種区域の向山・小川原地区の対象者については、住宅移転や現住居の継続、防音工事など複数の選択肢があり、意向を丁寧に伺う場を設けるとともに、住宅移転に関する個別相談窓口の設置を国に要望している。騒音区域見直しに際して町は集落単位のコミュニティを分断

しないよう求めてきたが、十分に反映されなかったため、防衛省等に対しF-35A戦闘機の配備状況を踏まえた騒音度調査と区域見直しを要望し、状況変化があれば調査・見直しもありうるとの回答を得ている。現時点で追加指定を直ちに求めることは難しいが、今後も町と議会が一体となり町民の声を国へ届けていく。

多目的トイレ・授乳室の整備について

答弁（町長）
多目的トイレは交流施設、福祉施設、社会教育施設、体育施設、小学校など計25施設に整備しており、授乳室は福祉施設と体育施設の2施設に設置している。これらはバリアフリーや子育て支援の観点から重要な設備であると認識しており、今後も施設の利用状況や改修計画に合わせて、必要に応じて整備を進めていく考えである。特に多目的トイレは高齢者や障がい者、幼児連れの方など多様な利用者への配慮が求められるため、改修等の機会を捉えて計画的な整備を検討していく。授乳室についても、子育て世代が安心して公共施設を利用できる環境づくりの一環として、

旧学校校舎解体に伴う課題について

答弁（町長）
今年度、第一・小川原・千曳の旧小学校の校舎・倉庫等の解体を計画しており、これらは地域の教育活動やコミュニティの拠点として親しまれてきた施設であることから、母校を偲ぶ場所を残してほしいという声があることを十分理解している。校舎内の掲示物や展示品などは、学校の歩みや地域の歴史を伝える貴重な資料であり、分館や町内会など地域の集会施設への移設を調整している。卒業生名簿や沿革資料等は統合先の小学校に引き継いでおり、体育館や記念碑は取り壊さず残す予定である。跡地利用全体との整合性を図りながら、記念碑や植栽の継承、小規模な記念公園的な空間の確保について地域の意見を伺いながら検討していく。一方で、維持管理や安全管理、今後の土地利用計画との調整も必要であることから、具体的な整備内容はまだ決定していないが、地域の思いに配慮した対応に努める。

各常任委員会の報告から

総務企画常任委員会（5月20日開催）

過疎計画と人口対策について 町の持続的発展へ向けた施策を確認

【所管事務調査】企画課：①東北町過疎地域持続的発展計画について

東北町過疎地域持続的発展計画について（令和8年度新たに追加した事業）

No	持続的発展施策区分	事業名	事業内容	担当課
1	移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	過疎地域持続的発展特別事業（移住・定住）	地域活性化推進事業（地域おこし協力隊）	企画課
2	産業の振興	基盤整備（農業）	農地中間管理機構関連農地整備事業（田ノ沢地区）	農林水産課
			防災ダム事業（天間ダム）	農林水産課
			防災ダム事業（和田ダム）	農林水産課
			ため池等整備事業（才市田溜池）	農林水産課
			ため池等整備事業（中津2号堤）	農林水産課
			農業用河川工作物応急対策事業（滝沢平）	農林水産課
		過疎地域持続的発展特別事業（その他）	小川原湖レークハウス解体事業	商工観光課
3	地域における情報化	電気通信施設等情報化のための施設	自主放送設備改修事業	企画課
4	交通施設の整備、交通手段の確保	市町村道（道路）	清掃センター通り線舗装改修事業	建設課
		市町村道（その他）	蒼前・御料線舗装改修事業	建設課
			姥名水道脇通り舗装改修事業	建設課
		林道	林道滝沢平切左坂道ノ下線開設事業	農林水産課
		過疎地域持続的発展特別事業（公共交通）	地域公共交通計画策定事業	企画課
5	生活環境の整備	過疎地域持続的発展特別事業（生活）	空家リフォーム促進事業	総務課
		過疎地域持続的発展特別事業（環境）	空家除却促進事業	総務課
			中部上北最終処分場 旧ポンプ室等解体事業	総務課
		過疎地域持続的発展特別事業（その他）	公共施設等総合管理計画策定事業	財政課
6	子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	児童福祉施設（保育所）	就学前教育・保育施設整備事業	福祉課
		過疎地域持続的発展特別事業（児童福祉）	3歳未満児保育料負担軽減事業	福祉課
			副食費負担軽減事業	福祉課
			地域こども計画策定事業	福祉課
		過疎地域持続的発展特別事業（高齢者・障害者福祉）	障害者基本計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業	高齢介護課
		過疎地域持続的発展特別事業（その他）	地域福祉計画策定事業	福祉課
7	教育の振興	集会施設、体育施設等（体育施設）	北総合運動公園トレーニングセンター改修事業	社会教育スポーツ課
		過疎地域持続的発展特別事業（その他）	南総合運動公園改修事業	社会教育スポーツ課
			修学旅行費助成事業	学務課

主な質疑

Q 地域公共交通計画は今年度中に策定されるのか。

A 現時点で策定予定はないが、今後の補助制度活用を見据え計画に位置付けている。

Q 多くの事業が掲載されているが、優先順位はあるのか。

A 各課の必要事業を幅広く掲載したもので、今後必要に応じて見直しや追加を行う。

Q 喫緊の課題は何か。

A 人口減少対策（移住・定住促進）を重点課題としている。



産業建設常任委員会（5月21日開催）

道路復旧や跨線橋整備はいつ？

【所管事務調査】建設課：①令和8年度建設課所管事業の発注見通しについて

令和8年度建設課所管事業の発注見通しについて（令和8年5月18日現在）

番号	主 な 事 業 等	事 業 場 所	発注見通し (開始)	予定工期 (終了)	番号	主 な 事 業 等	事 業 場 所	発注見通し (開始)	予定工期 (終了)
1	町道保戸沢・簾屋線舗装 改修工事	字下山 地内	令和8年6月	令和8年9月	16	町道223号線外2（3・ 4工区）路線測量業務委 託	大字上野字手長 外 地内	令和8年7月	令和9年2月
2	町道清掃センター通り線 舗装改修工事	字乙供 地内	令和8年6月	令和8年10月	17	町道甲地・鶴ヶ崎線舗装 更新工事 外	字往来ノ下地内 外	令和8年8月	令和8年12月
3	7 災第17号町道外蛇沢・ 甲地線道路災害復旧工事	字外蛇沢前平 地内	令和8年6月	令和8年10月	18	丘ノ上団地B棟屋根・外壁 改修工事	町営丘ノ上団地 内	令和8年8月	令和8年12月
4	7 災第18号町道館花・乙 供線道路災害復旧工事	字乙供 地内	令和8年6月	令和8年10月	19	栄団地防音復旧工事	町営栄団地内	令和8年8月	令和8年12月
5	7 災第19号町道野田頭・ 浜台線道路災害復旧工事	字野田尻地内	令和8年6月	令和8年10月	20	町道223号線外2（1工 区）道路予備設計業務委 託（その2）	大字上野字揚地 ノ下 地内	令和8年8月	令和9年2月
6	7 災第20号町道乙部・萌 出線道路災害復旧工事	字乙部橋ノ上 地内	令和8年6月	令和8年10月	21	町道蛇沢小学校・内蛇沢 線測量設計業務委託	字塔ノ沢山外 地内	令和8年8月	令和9年2月
7	7 災第22号町道内蛇沢・ 榎林線道路災害復旧工事	字内蛇沢向地内	令和8年6月	令和8年10月	22	町道保戸沢・簾屋線測量 設計業務委託	字外蛇沢後久保 地内	令和8年8月	令和9年2月
8	町道上清水目・字道坂線 防雪柵設置実施設計業務 委託	字添ノ沢地内	令和8年6月	令和8年12月	23	町道435号線道路改良工 事	大字上野字南谷 地 地内	令和8年8月	令和9年3月
9	町道519号線防雪柵設置 実施設計業務委託	大字大浦字寒水 頭 地内	令和8年6月	令和8年12月	24	小川原通跨線橋下部工工 事	大字大浦地内	令和8年9月	令和10年2月
10	町道348号線改良舗装工 事	大字大浦字明堂 向 地内	令和8年7月	令和8年12月	25	湯沢橋補修実施設計	字湯沢 地内	令和8年9月	令和9年2月
11	町道327号線改良舗装工 事	上北南四丁目 地内	令和8年7月	令和8年12月	26	7 災第15号岩渡沢川河川 災害復旧工事	字保戸沢道橋ノ 上 地内	令和8年9月	令和9年2月
12	町道大池1号線防雪柵設 置工事	字中村道ノ上 地内	令和8年7月	令和8年12月	27	第一乙供橋補修工事	字下笹橋地内	令和8年9月	令和9年3月
13	町道410号線防雪柵設置 (1工区)工事	大字上野字北谷 地 地内	令和8年7月	令和8年12月	28	岩渡沢川浚渫工事	字落合 地内	令和8年10月	令和9年3月
14	町道412号線測量設計業 務委託	上北北 地内	令和8年7月	令和9年2月	29	町道土橋北線改良舗装工 事	字後久保地内	令和8年11月	令和9年3月
15	町道223号線外2（2工 区）詳細設計業務委託	大字上野字揚地 ノ下 地内	令和8年7月	令和9年2月					

鳥インフル発生、その後の対応は？

【所管事務調査】農林水産課：①町内で発生した高病原性鳥インフルエンザについて

町内で発生した鳥インフルエンザ終息までの経過

- ・ 町内の養鶏場（約23万羽）で発生した高病原性鳥インフルエンザは、4月21日の通報を受け、22日に陽性が確定し、県と町が対策本部を設置
- ・ 発生直後から24時間体制で防疫作業を実施し、約5日間で殺処分を完了、4月29日には埋却・消毒を含む全作業が終了
- ・ 防疫作業には延べ約4,100人（県・市町村・民間）が従事し、大規模な対応となった
- ・ 町は集合施設の運営や消毒対応、保健師による健康管理など多方面で支援
- ・ 現在も一部消毒を継続しており、監視期間終了後に対策本部を解散する予定



教育民生常任委員会（5月22日開催）

集団健診のお知らせと受診状況は？

【所管事務調査】保健衛生課：①集団検診について

集団健診体制

町では、令和8年度も上北・東北両地区で集団健診を実施し、平日健診に加え、土曜・日曜健診、女性健診、骨密度検診、夕方レディース健診、七戸病院・八戸西健診プラザでの人間ドックなど、多様な受診機会を確保している。

特定健診の受診状況

令和7年度の特定健診では、国保の集団健診受診者は472人（前年度501人）、後期高齢者は735人（同692人）となり、おおむね横ばいから微増の傾向となった。30代健診はわずかに増加したものの当初見込みには届かず、尿酸・HbA1c、肝炎検査も横ばいからやや減少の結果となっている。

がん検診の受診状況

胃がん検診受診者は1,045人（前年度1,190人）、大腸がん検診は1,627人（同1,750人）、肺がん検診は1,592人（同1,741人）と、いずれも前年度から減少した。一方で、八戸西健診プラザなど外部機関での受診者は増加しており、受診場所の多様化が進んでいる状況にある。

女性健診・骨密度・人間ドック

子宮がん検診は538人から509人へ、乳がん検診（1方向・2方向合計）も減少し、とくに2方向撮影の年代では当初見込みを下回った。骨密度検診は合計90人（前年度118人）、人間ドック全体も715人（同769人）と、いずれも減少傾向がみられる。

受診率と今後の取組

令和5年度のがん検診受診率（40～74歳男女）は、胃がん17.7%、大腸がん22.8%、肺がん22.7%、乳がん33.0%、子宮がん22.8%にとどまり、県内では中位程度の順位となっている。この状況を踏まえ、町では、保険料納付書へのチラシ同封、未受診者への個別勧奨、健診案内の個別発送、土日健診の拡充、事業所への実態調査、事業主健診利用者へのがん検診受診の呼びかけなど、受診率向上策を強化している。

町民への呼びかけ

町としては、がんや生活習慣病の早期発見には定期的な健診が不可欠と捉え、対象年齢の住民に対し、年1回の集団健診や人間ドックの積極的な利用を求めている。

主な質疑

- Q 事業主健診を受ける人へのがん検診勧奨や、事業所への実態調査はどのように進めるのか。
- A 今年度からの実施を検討しており、八戸西健診プラザで事業主健診を受ける東北町民に対し、同施設でがん検診を勧める取組を始める予定である。事業所訪問は日程未定で、今後具体化を図る。
- Q 七戸病院人間ドックが「1日10人まで」となっているが、希望しても受けられない人は出ていないのか。
- A 七戸病院側の医師体制等の事情から、1日10人の受入として調整しているが、現時点で受診できないとの報告はなく、申込者は日程調整の上で受診していると認識している。病院側とも連携し、実態を改めて確認する。
- Q がん検診や特定健診の受診率が2、3割台にとどまっている中で、どのような目標や方針で受診率向上を図るのか。
- A 県公表の受診率は町全体人口を基礎にしており実態が見えにくい面もあるが、町独自の資料（「東北町の健康」等）を活用し、現状分析と目標設定の在り方を見直す。受診率向上策や資料の示し方についても再検討し、より分かりやすい形で示していく。
- Q 受診率低下の要因をどのように把握しているのか。また、どのような手立てで要因を探るのか。
- A 現時点では「毎年受ける人」「隔年で受ける人」など受診パターンに関する推測にとどまっており、十分に把握できていない。今後、アンケートや意識調査等により、足の問題や忙しさ、周知不足など具体的要因を把握した上で、対策を検討していく必要があるとの認識が示された。
- Q 高齢者など交通手段のない人が集団健診会場へ行きやすくなるよう、町でバスを出すことは可能か。
- A 町民バスとの関係もあり即答はできないが、足の確保が受診の妨げになっている場合の対応策として、バス配車の可能性も含め検討していく。



この記事以外の所管事務調査

保健衛生課：②上北保健福祉センター視察について（改修工事完了に伴う視察）

学 務 課：①令和8年度学校給食費給付金事業における財源構成について

社会教育スポーツ課：①町文化財の指定について（八幡神社伝来の神楽面）

議会の動き(4月～6月)

月 日	用 務
4月15日	議会広報特別委員会
4月21日	基地対策特別委員会
4月28日	議会改革特別委員会 議会互助会総会(テクノロジーセンター)
5月8日	小川原湖環境保全対策特別委員会
5月11日	基地対策特別委員会要望活動
5月12日	(東北防衛局：仙台市／防衛省：東京都)
5月17日	関東ふるさと会総会(議長：東京都)
5月19日	小川原湖環境保全対策特別委員会要望活動 (高瀬川河川事務所)
5月20日	総務企画常任委員会 町村議会広報研修会(議会広報特別委員会：青森市)
5月21日	産業建設常任委員会 原子燃料サイクル対策等特別委員会

月 日	用 務
5月22日	教育民生常任委員会 上北郡町村議会議長会第1回定例会(六戸町)
5月26日	全国町村議会議長会議長・副議長研修会(東京都)
5月29日	議会運営委員会
6月1日	小川原湖環境保全対策特別委員会要望活動
6月2日	(国土交通省：東京都／東北地方整備局：仙台市)
6月3日	青森県町村議会議長会臨時総会(議長)
6月4日 ～ 6月10日	第2回定例会 (4日開会 9日一般質問 10日議案審議)
6月4日	基地対策特別委員会
6月19日	原子燃料サイクル対策等特別委員会視察研修 (東通原子力発電所)
6月26日	下北半島振興促進連絡協議会要望活動(議長)



5/11
基地対策特別委員会
要望活動(防衛省)



5/19
小川原湖環境保全対策
特別委員会要望活動
(高瀬川河川事務所)



5/20
町村議会広報研修会
(青森市)



6/1
小川原湖環境保全対策
特別委員会要望活動
(国土交通省)



6/19
原子燃料サイクル対策等
特別委員会視察研修
(東通原子力発電所)



6/26
下北半島振興促進連絡協
議会要望活動
(国土交通省)

基地対策特別委員会

東北町議会基地対策特別委員会は町長とともに、防衛省など関係する機関や国会議員へ町の基地対策に関する要望活動を行っています。



表紙に映る、花いっぱい運動

町が推進する「花いっぱい運動」は、町民憲章の「花とみどりを育て、美しい町にします。」の理念に基づき、町内各地で毎年実施されています。



本年度もマリーゴールドやサルビアなど約6万本の花苗を各町内会や学校、事業所等へ配布し、町全体で花と緑にあふれる環境づくりに取り組んでいます。



議長 長田 嶋 悟
 議会広報特別委員会
 委員長 沼山 浩幸
 副委員長 大崎 昭子
 委員 笹倉 健
 委員 沼山 英隆
 委員 坂本 直大
 委員 賀斗 高太郎

今月は「議会だより第85号」をお届けします。
 本号は、6月定例会を主に編集しましたが、内容の一部を要約しておりますのでご了承願います。
 議会広報特別委員会では町民の皆様に関心される紙面作りを心がけております。ご意見、ご要望等がありましたらご投稿をお願いします。

編集後記

★お知らせ

東北町テレビ
 (東北町自主放送11チャンネル)
 町議会9月定例会の放送予定は9月上旬を予定しております。
 再放送は、翌日の午後7時から放送予定。

放送日程や内容は、リモコンの「番組表」ボタンで確認することができます。

TEL 0176-56-4227
 FAX 0176-56-3110

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォントを
 採用しています。